



Panasonic®

取扱説明書

DC12V車専用
車載用 ワイドVGA液晶カラーテレビ

品番 TR-T90WV1 (9V型)

品番 TR-T110WV1 (11V型)

ご使用前に

使いかた

使いこなす

設置のしかた

必要なとき

保証書別添付

このたびは、パナソニック車載用9V型、11V型ワイドVGA液晶カラーテレビをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 取扱説明書および保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(6～9ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

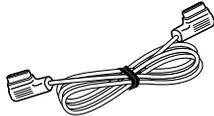
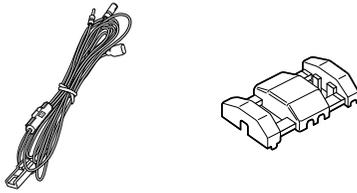
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

- この取扱説明書は、TR-T90WV1 (9V型)とTR-T110WV1 (11V型) 共用です。
- 製造番号は、安全確保上重要なものです。

お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

商品構成一覧表 (取り付け前にご確認ください。)

本機には、次のものが同梱されています。設置、接続の前にご確認ください。万が一、足りない場合や破損していた場合は、すぐに販売店までご連絡ください。

<input type="checkbox"/> ディスプレイユニット 1台 	<input type="checkbox"/> チューナーユニット 1台 
<input type="checkbox"/> ワイヤレスリモコン 1コ (リチウム電池付属) 	<input type="checkbox"/> ディスプレイユニット～チューナー 接続ケーブル 1本 (長さ: 4 m) 
<input type="checkbox"/> 電源コード 1本 (圧着式コネクタ 1コ付) 	

●付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

アナログ放送からデジタル放送への移行について デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始されその他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

特長

- **9V型ワイド/11V型ワイドVGA液晶パネル搭載**
高画素数・高精細な液晶パネルの採用で、高画質・迫力あるワイド画面を実現しました。
- **多彩な画面モード切り換え機能内蔵**
ノーマル/フル/ズーム/シネマ/ジャストの画面モード切り換え機能を内蔵。お好みのモードで映像を見ることができます。
- **2系統のビデオ入力端子付**
カーナビゲーションやDVDのビデオ入力2系統を有し多彩な映像を視聴することができます。
- **小型・高性能スピーカーとステレオヘッドホン端子付**
ディスプレイユニットの背面に内蔵されたスピーカーで、テレビ・ビデオ・カーナビゲーションなどの音声を出力できます。
- **オートディマー (自動調光機能) 内蔵**
周囲の明るさに応じて画面を見やすい明るさに自動調整できます。
- **FMトランスミッター内蔵**
FMワイヤレス発信回路を内蔵していますので、テレビやビデオの音声を電波で飛ばして、カーステレオなどで受信して聴くことができます。
- **AV出力端子付**
画面操作に影響されずにAV出力端子に接続された2台目のモニターの映像や音声を切り換えることができます。
本機の電源をオフにしたままでAV出力端子に接続された2台目のモニターで映像・音声が楽しめます。
- **車載用デジタルチューナー接続端子付**
当社製車載用デジタルチューナー (別売) を接続することにより高画質の映像と音声を視聴できます。
- **AIモード搭載**
映像シーンに応じてコントラストや黒レベルを自動的に調整し、メリハリのある映像を再現します。さらにオートディマー「オン」設定で映像シーンに応じた自動調整に加え、周囲の明るさに応じて自動的に色補正を行い、より鮮明な映像を再現します。

お知らせ

- テレビのV型 (9V型、11V型等) は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 本機の信号方式はNTSCです。他の方式は使用できません。

- その他本書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書で説明する製品の的外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。
- 本書内の写真/イラストについて
本書内の製品姿図・イラストは、実物と多少異なりますが、ご了承ください。

ご使用前に

- 商品構成一覧表2
- 特長3
- 安全上のご注意6
- 快適にお使いいただくために10
- 各部のはたらき11
 - ディスプレイユニット11
 - リモコン12
 - チューナーユニット14
 - メニュー画面15

使いかた

- テレビ放送を見る17
- 選局設定のしかた19
 - オートメモリ選局19
 - ダイレクト (1~12) 選局20
- 音声について21
 - 内蔵スピーカーの音量を調整する21
 - テレビの音声をカーオーディオで聞くには22
 - 「FMトランスミッター」の周波数変更23

使いこなす

- 便利な機能24
 - 映像の横縦比 (アスペクト) を切り換える24
 - 音声を切り換える25
- 設定を変える26
 - 基本メニューの設定26
 - 基本メニュー26
 - システム設定メニューの操作と設定28
 - ビデオモード29
 - ディマー29
 - オートメモリ29
 - 電源LED29
 - ピープ音29
 - 拡張AV出力機能30
 - 映像出力機能31
 - 映像音声調整32
 - マイメニューについて33

- 各機器との接続34
 - カーナビゲーションを接続する34
 - カーナビゲーションの映像信号を接続する場合35
 - 車載用DVDプレーヤーを接続する36
 - 映像機器を接続する37
 - 2台目のテレビやモニターを接続する38
 - 車載用デジタルチューナーを接続する39
 - 車載用デジタルチューナーとの接続について39

設置のしかた

- 設置・接続のしかた41
 - 運転者からテレビが見えない位置に取り付ける場合42
 - 運転者からテレビが見える位置に取り付ける場合42
 - 取り付け位置について45
 - 圧着式コネクタの接続46

必要なとき

- 故障かな!?47
- お手入れについて49
- 保証とアフターサービス50
- 仕様53
- 別売品のご紹介54

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される危害の程度」です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告

配線・取り付け／取りはずしは、専門技術者にご依頼ください



取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

●安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しないでください



ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

禁止

安全のため、必ずパーキングブレーキ入力を正しく配線してください



説明に従って正しく配線しないと、安全機能が働かなくなり、交通事故の原因となります。

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けしないでください



禁止

運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ブレーキペダル付近など）、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因となります。

運転者は走行中に操作をしたり、画像を見たりしないでください



禁止

走行中に操作をすると、不注意となり事故の原因となります。操作は安全な場所に停車して行ってください。表示された画像を注視しないでください。

警告

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付けてください



車体やダッシュボードに穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因となります。

故障や異常のまま使用しないでください



禁止

煙りが出る、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

●直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

はずれたり・落下しないように、しっかり取り付けてください



ねじがゆるんでいたり、接着が弱いと、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

雷が鳴り出したらアンテナ線やテレビには触れないでください



接触禁止

感電の原因となります。

ぬらしたりしないでください



水ぬれ禁止

火災や感電の原因となります

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回してください



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因となります。

DC12Vマイナス⊖アース車で使用してください



DC12Vマイナス⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車（DC24V車）には使用できません。火災や故障の原因となります。

分解や改造はしないでください



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください



禁止

あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

異物を入れないでください



禁止

機器内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前に

警告

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめてください



車の電装品（ブレーキ・ライト・ホーン・ハザード・ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

正しく配線を行ってください



誤った配線をするとう火や事故の原因となります。特にリード線がねじやシートレールの可動部分にかみ込まないように整形し、固定してください。

電池のプラス \oplus ・マイナス \ominus 部に金属物（ネックレスやヘアバンドなど）を接触させないでください



液もれ発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止

●ビニール袋などに入れ、金属物と接触しないようにしてください。

使用しないコードの先端などは、絶縁してください



被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス \ominus 端子をはずしてください



バッテリーのマイナス \ominus 端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

はずした電池を乳幼児が飲み込まないようにしてください



窒息死することがあります。

禁止

●飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

電池を廃棄する場合、テープなどで絶縁してください。



他の金属や電池と混じると発火・破裂の原因となります。

注意

車載用以外には使用しないでください



禁止

車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になります。

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけないでください



禁止

ショートや断線により、発火や故障の原因となります。

注意

走行中は適正な音量で使用してください



車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は事故の原因となることがあります。

液晶パネルは、ガラスでできていますので、強い力や衝撃を加えないでください



禁止

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

水がかかる所やほこりの多い所に取付けないでください



禁止

火災や感電の原因となることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用してください



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

リモコンは直射日光・高温の場所を避けて保管してください



ケースの変形、内部電池の破裂、液もれの原因になります。

ディスプレイユニットをエアバッグ装置の上や付近には設置しないでください



禁止

決められたヒューズを使用してください



必ず規定のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

電池を入れるときには、極性表示（プラス \oplus とマイナス \ominus の向き）に注意してください



機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使用しないでください



禁止

間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池はショート・分解・加熱・火に入れないでください



禁止

発熱・液もれ・破裂などを起こし、けがや火傷の原因となります。

液晶パネルについて

- 液晶パネル面を上にしてダッシュボードの上に放置しないでください。
(保存温度範囲：-20℃～+80℃)
高温または低温になると液晶パネルが化学変化を起こし、故障の原因となります。
- 液晶パネル面は特殊加工されていますので、画面に触れた場合は指紋が付き目立ちます。できるだけ画面をさわらないようにしてください。
また、画面を押しすぎないでください。
- 低温になりますと、映像が暗くなったり、出るのが遅くなったりすることがあります。また、映像の動きに違和感が出たり画質が劣化したりすることがありますが故障ではありません。
(使用温度範囲：-10℃～+50℃)
- 画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。
液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますので、ご了承ください。
- 液晶パネルの表面は特殊な加工をしています。
固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

チューナーユニットについて

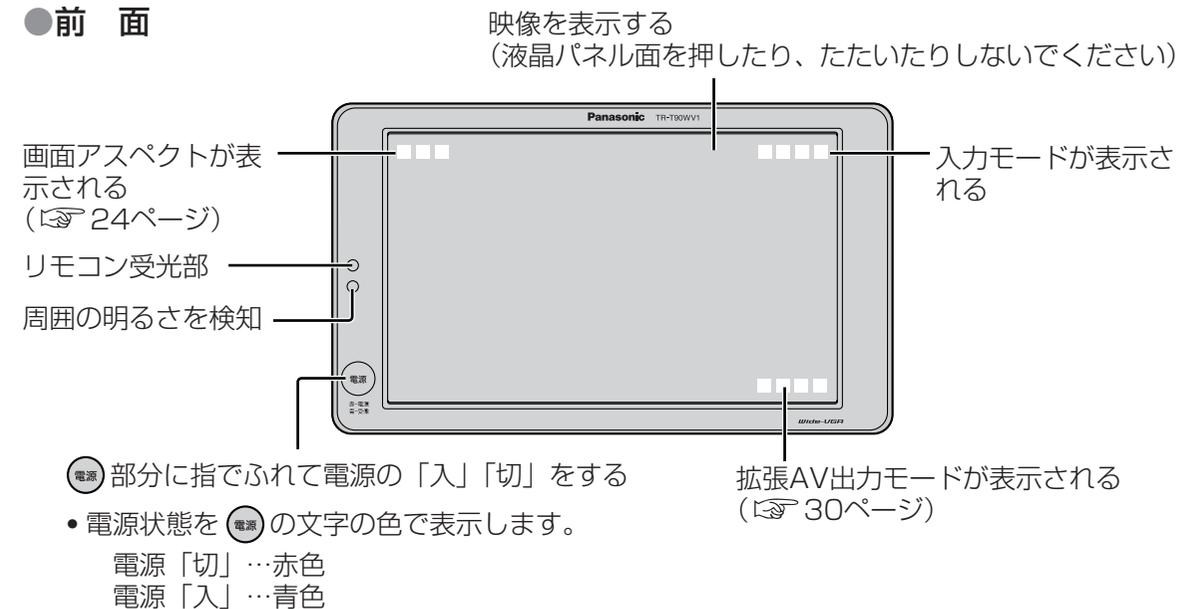
次のところには、取り付けしないでください。
水のかかるところ、足でふまれるところ、およびヒーターのダクトなど温風の近くや、カーペットの下などの熱がこもるところ。

映像について

- 本機は、各種の画面モード切り換え機能を備えています。
テレビ番組などのソフトの映像の比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- 営利目的、また公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ワイドでない通常の映像(4:3)をフル・ズーム・シネマ・ジャストなどで画面いっぱいに拡大すると、周辺の画像が一部見えなくなったり変形したりします。制作者の意図を尊重したオリジナル映像は、ノーマルでご覧ください。

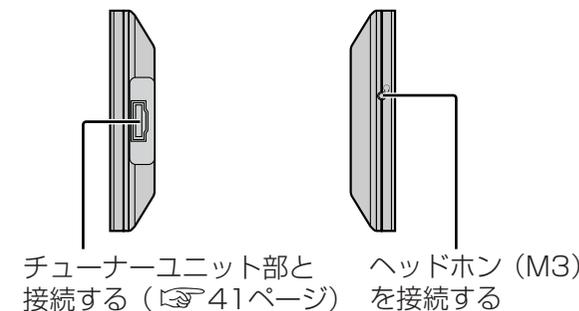
ディスプレイユニット

●前面

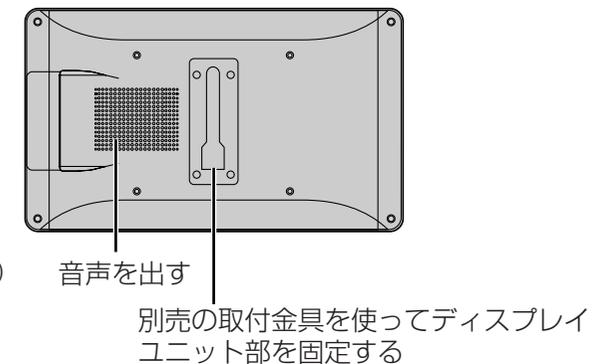


TR-T90WV1

●側面

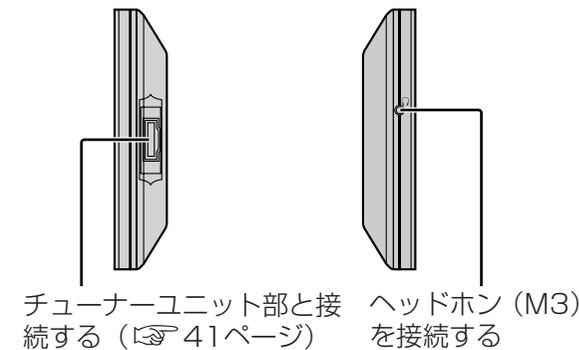


●背面

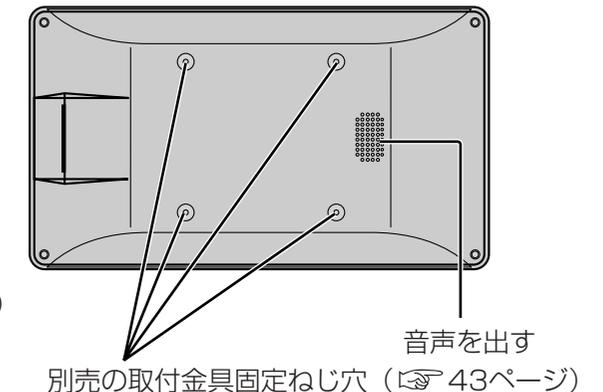


TR-T110WV1

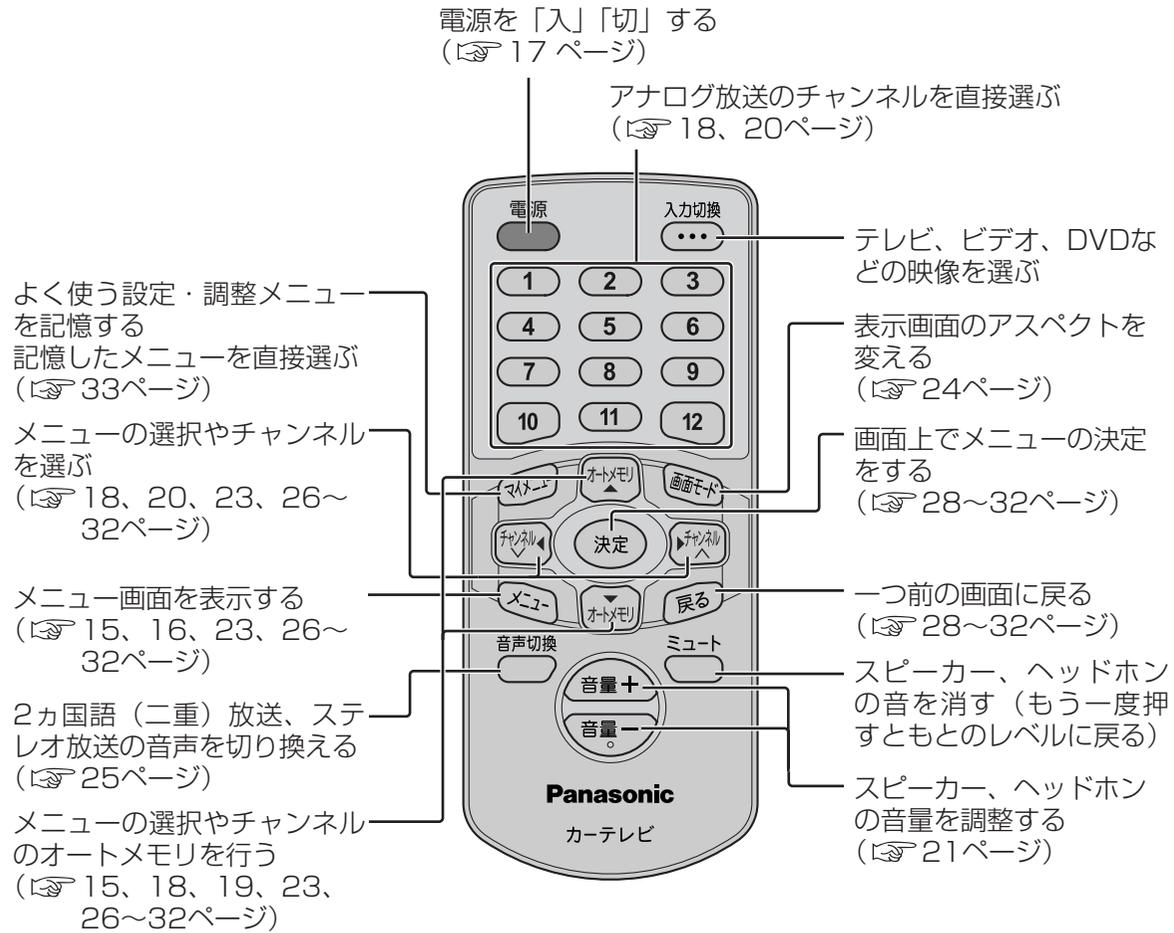
●側面



●背面



リモコン



■ 操作範囲

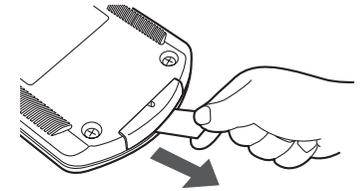
リモコンは、リモコン受光部に平行に向けて正面から約3 m以内で操作してください。

お願い

- リモコン受光部に直射日光や強い照明があたると、リモコンの動作が鈍くなります。ディスプレイユニットの向きを変えてください。リモコン受光部にリモコンを近づけて操作してください。リモコンとリモコン受光部の間に物をおかないでください。
- 他の機器のリモコンと同時に使わないでください。
- リモコンの発光部は指向性が強いので、傾けると動作しにくくなります。リモコン受光部に対して平行に向けてください。

●リモコンの準備

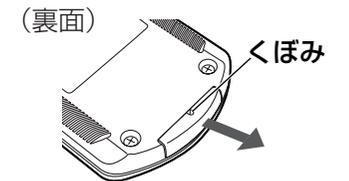
あらかじめ電池が入っています。ご使用前に絶縁シートを引き抜いてお使いください。



●電池の交換方法

1 電池ケースを引き出す

電池ケースのくぼみに、ボールペンの先などで押しつけながら、矢印の方向へ押し引き抜きます。



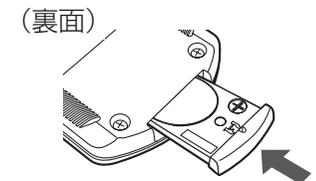
2 電池を入れる

プラス側 (+) を上にして入れます。(プラス ⊕ とマイナス ⊖ を確かめて正しく入れます)



3 電池ケースを差し込む

電池ケースを“カチッ”と音がするまで差し込みます。

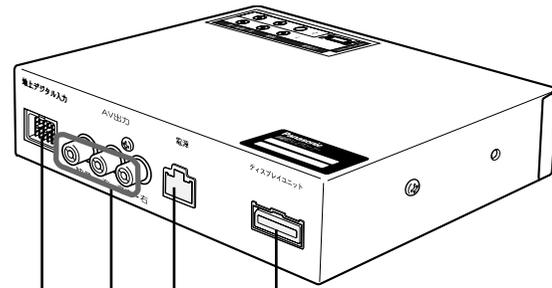


お願い

- リモコンを紛失しないようご注意ください。
- 落としたり、衝撃を与えたり、足で踏んだりしないでください。(部品がこわれ、故障の原因となります)
- リモコンに水などをかけないでください。
- リモコンをテレビの近くで操作しても働かないときは、電池(品番：CR2025 または CR2025P) を交換してください。

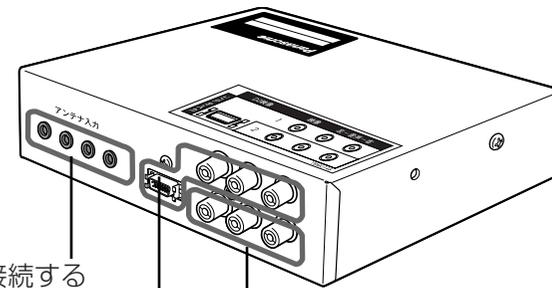
チューナーユニット

●電源端子側



- 当社製車載用デジタルチューナーを接続する
- 2台目のモニターを接続する
- 電源コードを接続する
- ディスプレイユニットを接続する

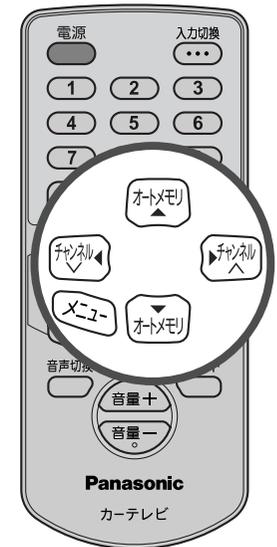
●アンテナ入力端子側



- アンテナを接続する
- ビデオ1入力端子**
DVDプレーヤーなどD1映像出力、D2映像出力または映像・音声出力端子のある機器を接続します。(D2映像入力端子に接続する場合は、音声端子も接続してください。)
「映像」と「D2映像」端子は「D2映像」が優先します。
(同時接続時)
- ビデオ2入力端子**
ビデオ・DVDビデオやカーナビゲーション等の映像機器を接続する

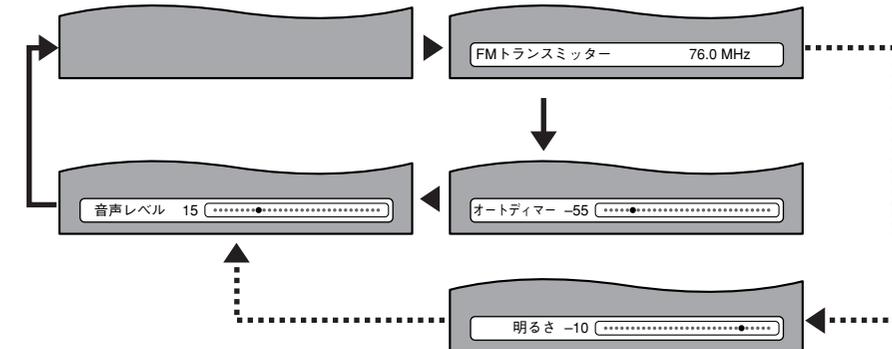
メニュー画面

本機の各種調整や設定は、メニュー画面上で操作できます。メニュー画面は、「基本」メニュー、「システム設定」メニューと「映像音声調整」メニューがあります。



●基本メニュー (26、27ページ)

1 リモコンの **メニュー** を押すごとに右のように表示する



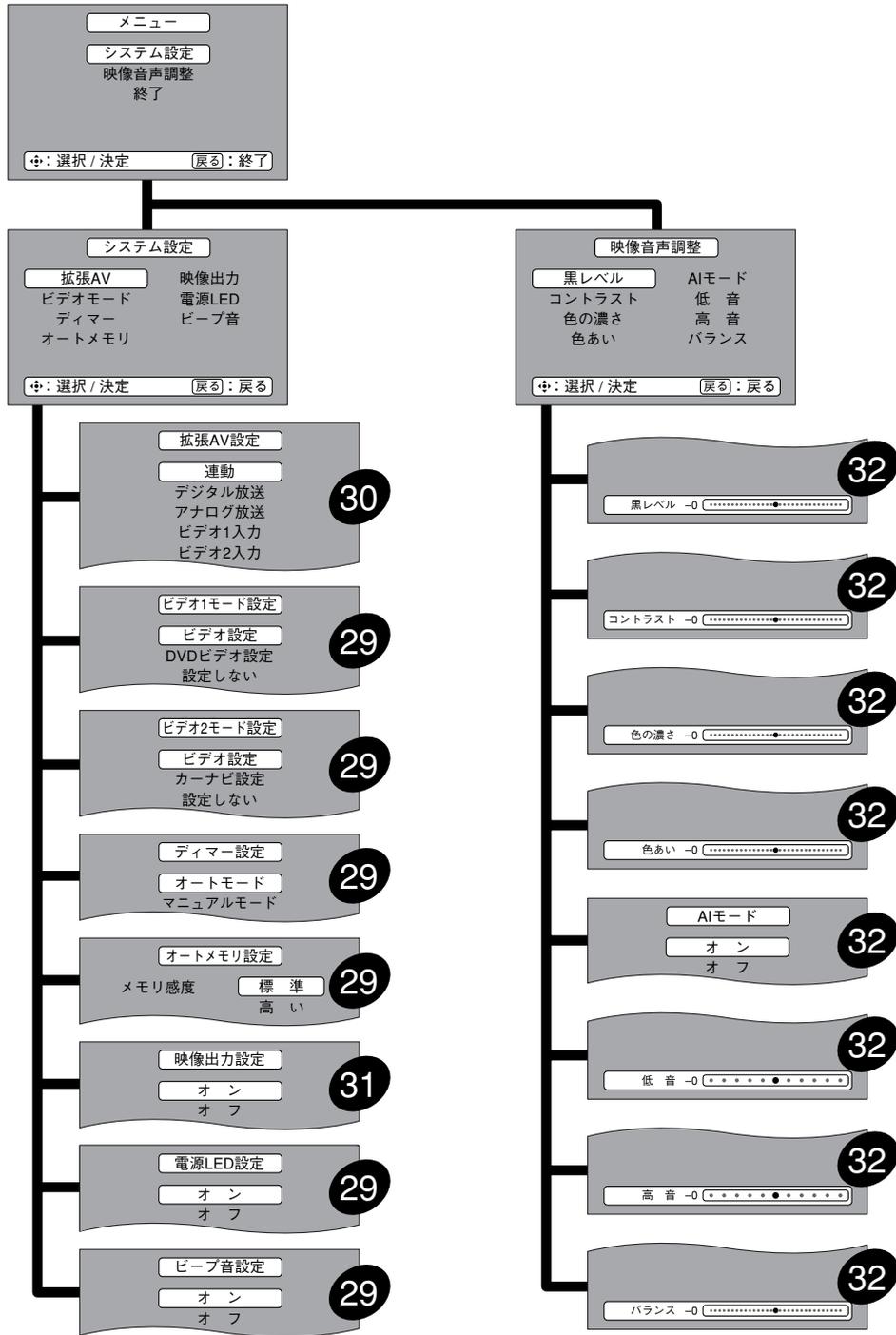
2 リモコンの **オートメモリ** **オートメモリ** **チャンネル** **チャンネル** を押して、各メニューのレベルを調整する

お知らせ

- 3秒間操作しなければ基本メニューは消えます。
- ディマー設定がマニュアルモードのときは「明るさ」にかわります。

各部のはたらき (つづき)

●システム設定メニューと映像音声調整メニュー (👉 28~32ページ)



● 内の数字は、本文での説明ページです。

お知らせ

- 拡張AV設定の「デジタル放送」は当社製車載用デジタルチューナーと車載デジタルチューナー接続ケーブルで接続していない場合、選択できなくなります。
- ビデオ2モード設定を「カーナビ設定」にした場合は、AIモードは「オン」にしても動作しません。